

🌿 広報あらお 特別号 2019 🌿

あらお 
「しあわせ」
探し。

荒尾のしあわせ
見つけよう!

荒尾市応援隊長

荒尾市応援隊長
西村 赤音さん



よかとこ荒尾市

よかこといっぱい!



2018年度の『あらお「しあわせ」探し。』、

その実績をご紹介します。

学問したくなる環境のススメ



＊ 中学校教室に エアコン設置完了

設置されたエアコンは「ガス方式」で、一部の教室では災害などで停電した時でも使用でき、また、非常用電源としても使うことができます。LED照明も整備し、教室が明るくなりました。

夏場は暑くてつらかった教室。今は涼しくなって、冬場は暖房も入るので快適です！授業に集中できるようになりました。
(荒尾海陽中学校・M君)

＊ ICTを学校にも

「学力充実研究」及び「ICTを活用した『未来の学校』創造プロジェクト研究推進」の指定校となっている桜山小学校で、電子黒板などICTを活用した授業に取り組み、有効な活用を研究しています。

POINT ICTって？
「Information and Communication Technology」の略です。パソコンやタブレット、スマートフォンなどのさまざまな形状のコンピュータを使った情報処理や通信技術によって、人と人、人とモノが繋がることをいいます。

＊ 授業の中心は“子どもたち”

校長先生として東京都内の小学校の学力をトップクラスに引き上げ、現在も全国各地で学校づくり・学力向上対策スーパーバイザーとして活躍されている西留英雄氏を、「授業改善アドバイザー」として迎えました。子どもたちの「わかった！」「できた！」が増える授業づくりを目指して、各学校で研究、実践を重ねています。



＊ 子どもたちの グローバル教育の第一歩

英語指導助手(ALT)を2名増員し、5名体制にしました。人数が増えたことにより、子どもたちがALTと直接会話をし、文化や言語の違いなどに触れることで、国際感覚を養える機会が増えました。

子どもたちはびっくりするほど元気！
休み時間になるとたくさんお話してくれます。授業中はシャイなのにね。
(ALT・ミトラさん(イギリス))



健康でいきいきとした日々を

＊ 新市民病院の設計事業者が11月に決定！

決定した設計事業者からは、患者とスタッフの動線を完全に分けるなど、利用者目線に立ったさまざまな提案がなされました。新しい市民病院は、病院全体がわかりやすく、みなさんが利用しやすい空間を目指します。



建設予定地の一面

新病院の完成は
2022年を予定



＊ 認知症への取り組み

全国8か所で行われている先進的な認知症研究の地として荒尾市が選ばれました。認知症の予防や進行を抑制する方策の発見のために熊本大学や医師会等と連携を行っています。また、警察と市や関係機関で認知症高齢者情報を共有する仕組みを設けているほか、声かけ見守り訓練を実施する地域も増えています。

地域で声かけ見守り訓練を始めました。実際に訓練をしたことで課題も見えてきました。他人事ではないと実感しています。(有明地区・Oさん)



2018年度の
支援件数
1,099件

母の様子が変わりながらも、どうしたらいいかわからなくて…。相談して本当に良かったです。(中央地区・Kさん)

認知症かな？と思ったら、地域包括支援センターへご相談を。専門的な知識を持った、経験豊富な認知症初期集中支援チームが、大切なご家族の今後と一緒に考えていきます。

＊ 「ふるさと」への想いが過去最高に



2018年度の
荒尾市へのふるさと納税額は
1億2千万円を突破！

荒尾市へのふるさと納税を2017年度と比較すると、寄附金額は6倍以上、寄附件数はなんと15倍以上に！お礼の品には梨などをはじめとした荒尾の特産品を多数ご用意。郵便局職員が高齢者のお宅を訪問し、遠くに住むご家族に生活状況をお知らせする「郵便局のみまもりサービス」も新たに加わりました。



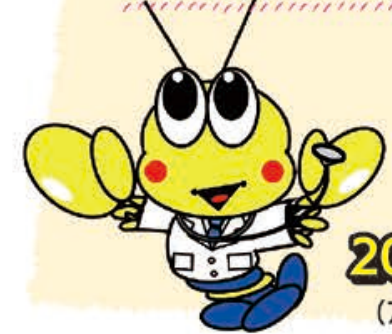
！ここにも注目！
地域で育む子どもたちが、次世代を担う人材としてすこやかに成長するよう役立てる「荒尾子ども未来基金」。たくさんの人にご賛同いただき、2018年度末までに累計約2,180万円の寄附をいただきました。

＊ あらおの“水”は先進的!?



荒尾市の水道は、公共と民間事業者がともに協力して業務に取り組んでいることから、全国でも注目的。2018年度はみなさんにもあらおの“水”のを知ってもらうために「荒尾市水道ビジョン」を策定しました。これからも、いつまでも、安心安全な水をお届けします。

＊ 500円でイイコトいっぱい！



国保の特定健診は500円。病気の予防と早期発見は、いつまでもいきいきと過ごす秘訣です。ワゴンコインで気軽に健診を受けて、しかも、抽選で商品券などのプレゼントまでもらえると大好評です。

2018年度の受診者3,740人
(70歳以上などで無料の人も含む。)



500円で体のチェックしてもらったので、1年間安心して過ごせます。また来年も受けようと思います！
(井手川地区・Fさん)

子育てをしやすいまちへ

＊ 子どもをどこに預けたら… そんなときは気軽にご相談を

市立清里保育園では2018年3月から「一時預かり事業」を実施中。普段、保育所等を利用していないご家庭で、一時的に子どもを預けたいというときに利用できます。



2018年度の
利用件数
245件

広報でこの事業を知りました。これまで3回ほど利用しています。保育士のみなさんもとても親身だし、助かっています。(荒尾地区・Kさん)



子どもが病気だけど、今日は仕事を休めない…そんなときの強い味方「病児保育施設キュービット」も、たくさんの方にご利用いただいています。(ご利用は1日最大20人まで。事前登録が必要です。)

2018年度の
利用件数
2,329件



荒尾市内の保育園への就職を機に転入しました。受給するようになり約1年です。おかげで生活が潤います。
(中央地区・Oさん)

＊ 保育士さんいらっしゃーい

保育士さんを大募集！荒尾市に転入した保育士さんには、家賃の半額(上限25,000円)を最大3年間補助しています。

あらおをもっと元気に、もっと魅力的に

＊「農業をやりたい」を応援

新規就農直後の経営資金として、毎年最大150万円を5年間交付します。ご夫婦の場合はさらに1.5倍。
 (※交付には要件があります)荒尾市に移住し、この制度を利用して3月から農家デビューした人もいます。

理想とする町に出会えました。この荒尾市で、コメと果樹栽培を中心とした複合経営を頑張っています！
 (井手川地区・Mさん)



新規就農者
5年間で22人

＊あらおで働く若者への支援で、地元企業も元気に！

荒尾市には素晴らしい実績を持つ中小企業がたくさん。そんな中小企業に就職もしくは自身で起業した若者の奨学金返済を補助する「奨学金返済わか者就労支援補助事業」がスタートしました。年間最大20万円を3年間補助します。



2018年度は
8名に
補助を開始

18歳のときに地元の荒尾で就職。チラシでこの制度を知りました。補助のおかげで月々の返済の負担が軽くなり、助かっています。(清里地区・Mさん)

＊“新しい仕事”があらおにやってきた

これまでもさまざまな企業を誘致してきた荒尾市。2018年度には、これまで荒尾市にはなかった業種であるコールセンターを新設する立地協定を結びました。この会社では3年間で150名の採用が予定されています。



＊電力の地産地消が開始

荒尾市に本社を置く有明エナジー株式会社が、昨年9月から市役所や市民病院など市内の公共施設へ太陽光などを活用した電力の供給を開始し、その後、民間企業への供給も開始しました。収益の一部は本市活性化の取り組みに還元されることになっています。

POINT 電力の地産地消って？ 地産地消のイメージ図



電気料金も安くなり、電力の面でも地産地消ができるのは嬉しいことです。(西原クリニック)



地域に貢献できるのではと考えて、新電力に変更しました。(ユー・アイ技研)

＊「安全・安心パトロール車」が見守っています

ゴミ収集の委託業者などと、収集の際に安全・安心見守りパトロールを行う協定を結びました。警察とも連携しており、日頃見かけない怪しそうな車や不審者の通報、徘徊者の保護などを行います。身の危険を感じたときは「安全・安心パトロール車」に助けを求めよう、ご家庭でお子さんにも話してください。



＊先進的な相乗りタクシーをあらおに！



利用してみました。日頃、買い物などの交通手段にとても困っているので、本当にありがたいと思いました。是非、実現してほしいですね。(井手川地区・Mさん)



スマートフォンや人工知能を活用した相乗りタクシーは九州初！まだ実証実験として行っているものですが、この取り組みは大手新聞社で1面に取り上げられました。

＊荒尾駅、南荒尾駅に愛称！

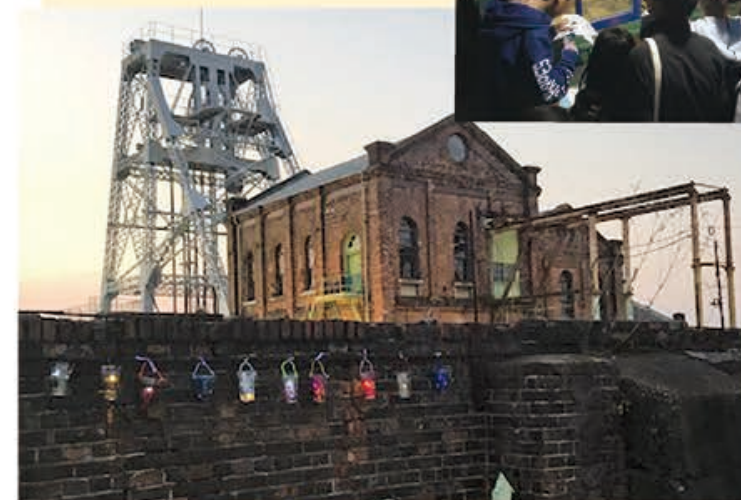
荒尾駅は「世界文化遺産 万田坑駅」、南荒尾駅は「ラムサール条約湿地 荒尾干潟駅」。駅名標や観光案内板などもリニューアルしました。



世界基準の
観光スポットも

＊万田坑

観光協会が整備した「まるごとあらお物産館」がオープン。2階は展望スペースになっています。三池炭鉱専用鉄道敷跡も散歩できるように部分的に整備し、福岡大学、熊本大学の学生が万田坑の新たな活用を企画。「炭鉱の記憶ミュージアム」、「万田坑大運動会」、「夜のDIYカフェ」、「夜の万田坑～万田坑の謎を解け！」など次々に新しいイベントを開催しています。



＊荒尾干潟

新しい干潟イベントも次々と登場。ノリ養殖やアサリ採りに使う、耕うん機に荷台をつけた乗り物「テラー」の試乗体験会は日本初のイベント！荒尾干潟の素晴らしい景色を眺めながら南荒尾駅から長洲駅まで歩く、荒尾駅が企画したウォーキングコースは、J九州主催のイベントで「満足度大賞」を受賞しました。



市長も体験♪

＊花のみちプロジェクト始動

2018年11月に中央区通りで「花のみちプロジェクト植栽会」を行い、地域住民、学校、企業、団体など約500人の参加者の手によって、パンジーなどが約1万8千本植えられました。その後も多くの皆さんによって手入れが続けられており、色とりどりの花がきれいに咲き誇っています。



花のみちプロジェクトには大変ですが、通りを歩く人からの「とても癒されます」という声が届いています。(中央地区・Kさん)



2018年度、あなたの「しあわせ」は見つかりましたか？
 次は2019年度の取り組みをご紹介します！

みんなで育む「人づくり」

♡ 子ども科学館を今注目のデジタルアートで楽しく学ぶ空間に

教育施設への常設は九州初！“チームラボ 学ぶ！未来の遊園地”の3作品を導入

リニューアルオープンをお楽しみに!!



家族で楽しめます！遊びにいきましょう！



お絵かきタウン

街をつくるもの(車、ビルなど)を紙に描いて、機械で読み取るとスクリーンに出現し、街ができていきます。描いた車などは触れるとスピードが変わったりします。



お絵かきタウンペーパークラフト

お絵かきタウンで描いた絵が、展開図となってプリントされます。展開図を組み立てると、世界で一つだけのペーパークラフトが出来上がります。



つながる！積み木のまち

積み木を置いて、列車や車などいろんな乗り物が走るまちを作ります。同じ種類の積み木は繋がって、乗り物が走り出します。積み木がたくさんうまく繋がると、乗り物は進化していきます。

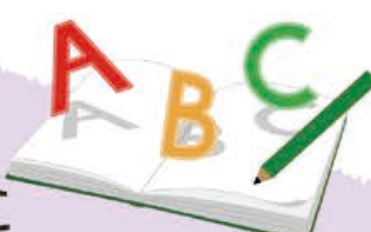
※リニューアルオープンの日程等は改めて広報あらおなどでお知らせします。

♡ さらに楽しく効果的なICT教育を

2019年度は全ての小中学校に電子黒板を配置。各教室インターネットを利用するための通信環境も整備します。

モデル校である桜山小学校ではタブレットやデジタル教科書などを使用し、効果的な学習方法などを研究していきます。また、外部講師を招き、プログラミング学習も実施。今後、タブレットやプログラミングなどのICTを活用した授業や取り組みを、他の学校へも拡げていきます。

授業改善アドバイザーを招く回数も増やし、より「わかった！」が増える授業へ!



♡ 中学卒業までに英語検定3級を目指せ!

子ども未来基金を活用して、英語検定チャレンジ事業を引き続き実施。中学校1年生には5級相当、2年生には4級相当、3年生には3級相当の受験料が無料に。

♡ 学校給食センターを建て替え

長洲町の小中学校の給食についても委託を受け、荒尾市の分と合わせて毎日約5,800食の給食を提供している学校給食センターは今年で築47年となり、老朽化してきたため、建て替えに向けて今年度基本構想を策定します。新しい学校給食センターは長洲町と共同で整備。これからはずっと安心安全でおいしい給食を提供できるよう、しっかりと話し合いながら進めていきます。



小学校の給食費は2017年度から無償化



♡ 0～2歳児の保育の受け皿を確保

荒尾市の保育所待機児童は2018年10月時点で15人。これを解消できるよう、0～2歳児を対象とした小規模保育所を整備します。設置や運営は民間で、建物は本村交差点近くに建設中。今年の秋の開業を目指します。



♡ 小学校にもエアコンを設置

「一日も早く」という思いで取り組んできた小学校へのエアコン設置。今年の夏休み中には市内10校全てで工事を行う予定にしており、9月からは快適な教室で勉強できるように進めています。



♡ 放課後の小学生にも受け皿を

放課後児童クラブにも待機児童が……。解消に向けた取り組みとして、中央小学校区の学童クラブ増設に対して補助を行うほか、荒尾第一小学校区でも拡充のための準備を行っています。



♡ ひとり親家庭等の医療費を無償に

児童扶養手当を受給しているひとり親家庭等には、その子どもの医療費を外来・入院ともに全額助成。子育て世代の経済的負担の軽減を図ります。



さらに快適で頼れる市民病院を目指して

今年度は基本設計と実施設計に取り組みます。新しい病院は、玄関の前で路線バスを乗り降りできるようにします。入院用の一般病棟はほとんどが個室の予定。5階建ての建物の屋上にはヘリポートを整備し、ドクターヘリが離発着できるように設計中です。地域救命救急センターの指定を受けることも目指しています。

また、新しい病院の開院を待たず、災害拠点病院の指定を受けられるよう、機能強化を図っていきます。



南側から見たイメージ

北側から見たイメージ ※設計等を進める中で変わる可能性があります。

おじいちゃん、おばあちゃん、ずっと健康でいてね

高齢者にとって、毎年猛威を振るインフルエンザや肺炎は天敵です。ずっと健康でいてほしいから、インフルエンザと肺炎球菌感染症の予防接種の自己負担額を軽減。これまでよりさらに気軽に受けられるようにしました。

自己負担額
インフルエンザ 1,700円→1,000円
肺炎球菌感染症 3,500円→3,000円

中学生にもピロリ菌検査

胃がんのリスク要因となるというピロリ菌。中学3年生を対象に、学校の健診に併せてピロリ菌検査を実施します。

みんなが元気に暮らせる荒尾へ!

子どものむし歯を撃退!

1歳6か月児健診を受けた後、3歳児健診までの間にむし歯のある子は約13倍に! むし歯が増える手前の2歳児を対象に、歯科健診を実施。無料でフッ素塗布やブラッシング指導まで受けられます。これでもうむし歯なんて怖くない!



歯科検診で生活習慣病も予防

歯周疾患は糖尿病をはじめとする全身疾患との関連も指摘されています。そこで、20歳以上の国保の被保険者を対象に歯周疾患検診を実施。いつまでも健康な歯と健康な身体で過ごしませんか?

いつまでも住み慣れたところで生活できるように

高齢になってもできる限り自宅で過ごしたいというご希望のお手伝いをするために、通い・訪問・泊まりのサービスを一体的に提供する小規模多機能型居宅介護事業所を2か所整備する予定です。



いよいよ8月10日開館! 「荒尾干潟 水鳥・湿地センター」

有明海で初となる環境省の水鳥・湿地センターが荒尾市蔵満に開館します。館内では、ラムサール条約湿地の荒尾干潟の水鳥や干潟生物を紹介するパネル、水槽が設置され、2階にも漁具などが展示されます。開館後は体験プログラムや特別企画展、干潟関連イベントなど、荒尾干潟の魅力がギュッと詰まった真新しい施設へぜひ遊びに来てください!



多くの人に体感してもらいたい!
世界文化遺産・万田坑

より万田坑に親しんでいただけるような環境整備を進めるとともに、これからはさまざまなイベントを実施していきます。また、万田坑を未来へ引き継ぐために、ポンプ室や倉庫などの補修を適宜行っていきます。

起業の夢をお手伝い

荒尾市起業家支援センターを中心に、「夜の起業相談会」などで起業を目指すみなさんの疑問や不安を解決。起業にあたり困っていることもご相談ください。

ここにも注目!

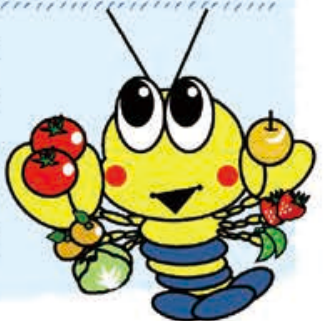
荒尾市にある遊園地で、映画「オズランド 笑顔の魔法おしえます。」の舞台にもなった「グリーンランド」。その規模は九州最大級で、アトラクション数はなんと日本一!

先生たちを工場へご招待!

市内には優良な企業がたくさんあります。そこで、実際に現場を体感し、生徒たちの進路指導に生かしていただくために、製造業の工場見学会「バスで行く“ものづくり企業視察ツアー”」に高校の先生などをお招きし、若者の地元就職に繋がります。

あらおの魅力がいっぱい詰まった道の駅を

競馬場跡地に交通アクセスの良さを生かした「道の駅」を作ります。たくさんの人に来ていただける、荒尾らしい魅力的な道の駅を目指して、基本構想を策定しているところです。



あらか未来プロジェクト4

未来志向の都市モデルの構築

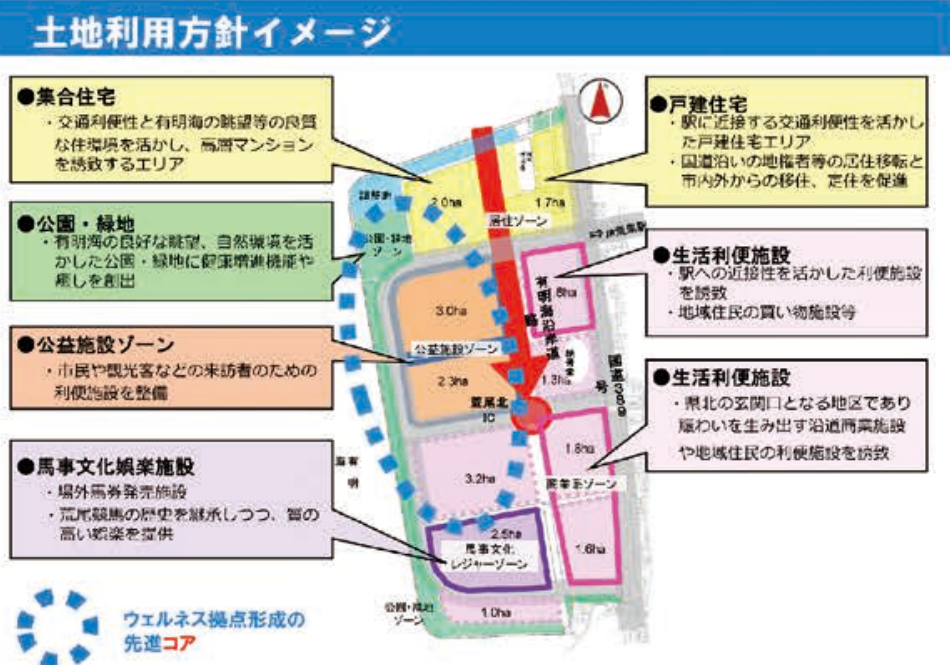
みんなで創る「街づくり」

目指すはみんなが笑顔になれるウェルネス拠点

南新地土地区画整理事業



約35ヘクタールの面積を持つ南新地。自然環境を活かした公園のほか、「道の駅」や「総合的な保健・福祉・子育て支援施設」などもこの南新地に整備する予定で、先進的な技術を積極的にまちづくりに取り入れ、子どもからお年寄りまで全ての人びとが、心豊かに健康で快適に過ごせるような環境を整えます。現在は造成工事が本格化しており、工事の進捗に合わせて活用に関する具体的な取り組みも進めているところです。



新しい拠点の“まち”が
うまれます!

有明海沿岸道路でもっと便利に



荒尾市の交通アクセス向上に期待されている有明海沿岸道路は、三池港インターチェンジから競馬場跡地である南新地までの調査・設計などが行われています。一日も早い整備完了に向けて、これからも関係機関と協力し、要望を行っていきます。

防災

いざというときに備え、防災対策の更なる強化を図ります。

その1 一刻も早く市民の皆さんへ防災情報を提供できるように、防災情報伝達システムを整備します。屋外スピーカーのほか携帯電話などでも情報を伝えられるようにし、2021年の運用開始を目指します。

その2 洪水、高潮、津波、ため池の浸水想定区域や土砂災害警戒区域などを記載した、最新の「防災マップ」を作成します。このマップには市指定避難所なども掲載し、より実用的なものとして全世帯に配布します。

その3 それぞれの地域の人命、財産を守るための助け合い（共助）について考え、計画を定めていく地区防災計画の策定に向け、まずはモデル地区を設定し、勉強会や危険箇所マップづくりなどの支援を行っていきます。

防犯

さらに安心して過ごせるまちになるように・・・

防犯カメラの設置を拡大

防犯カメラを、今年度はさらに20か所設置します。また、すでに設置済みの中学校に加え全ての小学校へも設置し、子どもたちがより安心できる環境を整備します。



LED防犯灯への助成を拡充

地域で設置している電球や蛍光灯の防犯灯について、LED防犯灯への切り替えの助成金額を引き上げ、助成設置数も増やすことで、明るく安全なまちを促進します。



あらかの「しあわせ」になくてはならない市民のチカラ



このほかにも団体や市民のみならず、地元企業のみならず多くの人が、さまざまな場面で活動をしています

さらに!

地域コミュニティを維持・発展していくために、2019年度から「地区担当職員制度」を始動!

市長が任命した地区担当職員をチームで12地区に派遣し、地域特有の課題を地域住民と共に考え、解決を目指します。

地域と市が同じ目標に向け、連携を強化することで、

あらかの「しあわせ」も数倍になる可能性が!

新しい時代にふさわしい 新しいあらおを創るためのチャレンジ!!

教育先進都市



授業改善やICT教育で、
将来を担う子どもたちを育成

小さくても
輝くまちを
目指して

新エネルギー都市

環境に優しい太陽光やバイオマスなどの
新エネルギーを地域内で自給し、最適に利用



超高齢社会先進都市

熊本大学、医師会などとの
連携により、認知症になりにくく、
なっても安心して暮らせるまち



移動らくらく都市

人工知能を活用した相乗り
タクシーや自動運転などで
らくらく移動



ICTと人が 協働する市役所

ICTを活用した業務の効率化と
温かい行政サービスを両立



RPA(人がパソコンで行う定型業務を自動的に
処理するソフトウェア型ロボット)と、文
書の封入封かんを自動で行うプリンターを組
み合わせ、実証実験を行いました。業務の効
率化のために間もなく導入します。

全国初!

BIG NEWS

2019年5月末、国が支援を行うスマートシティモデル事業に、南新地
を実施地区とした荒尾市の提案が「重点事業化促進プロジェクト」として
選定されました! 民間等と協力しながら最先端の技術で地域の課題
を解決する、先進都市・荒尾市となる未来へ向けた大きな一歩です。



わたしのしあわせを探しに、みんなのしあわせを創りに、
力をあわせて「一歩前に出る」ことで
あらおの新しい未来へと繋げていきましょう。

もっと!
あなたの声を聴かせてください



ご意見をお寄せください

まちづくり提案箱

市内5か所に設置

市内12地区を市長が訪問

あらお「しあわせ」探しトーク

今年は秋に開催予定

市の事業や制度などを
わかりやすくお話します

出前講座

市長も「出前」します

“旬”なあらおを発信中!!

荒尾市公式
Facebook



地域おこし協力隊
Facebook



広報あらお特別号2019
あらお「しあわせ」探し。

発行日 令和元年7月1日

編集・発行

荒尾市役所 総務部 秘書広報課 広報広聴係
〒864-8686 熊本県荒尾市宮内出目390番地
☎0968-63-1157 FAX 0968-63-1145
✉kouhou@city.arao.lg.jp